

東京都指定 2 次救急医療機関  
（財）日本医療機能評価機構 認定病院  
人間ドック・健診施設機能評価認定  
日本外科学会外科専門医制度関連施設  
機能強化型在宅支援療養病院

2018. 5 325号



# Suzuki Health Tomorrow



医療法人

浩生会スズキ病院

〒176-0006 東京都練馬区栄町 7-1 TEL 03-3557-2001

<http://www.suzuki-hospi.or.jp>



## 医者が肺炎になると

呼吸器科医師 加藤 正一

え～、医者の不養生なんて言葉がございますが、医者が病気になるってえと、実に厄介なものですよな。しかもおのれの専門分野となるとこれはもう、手に負えないものだとまあ、そのあたり、恥を忍んでお話し申し上げる次第でございます。

あれはもう3年程前になりますか、季節は初夏のころ、ですな。え～実は、その年の1月に鹿児島県指宿、2月は熊本、4月は佐賀県でフルマラソンを完走しておりまして、何が言いたいのかと申しますと、オレは体力には絶対に自信があるんだぞ、とまあ、こういうわけであります。

で、わたくしめ、目には青葉 山ホトトギス 初ガツオ、その初夏の候、何となく咳が続く、熱っぽい感じがする、こりゃあ夏風邪だな、そのうち治るだろうよ、なんぞとおっとり刀で適当に薬を自分で処方しておったものでございます。

ところが快方に向かう気配がない。それどころか、夜中に咳で目を覚ますに至りまして、レントゲン写真を撮ってみますってえと、これが肺炎なんですよ（ハイエン、ハイ、エ～、ン～。ゴホン）。症状が出始めてから1週間ほど経った木曜日の夕方でした。右にも左にも影がある。どうも普通の肺炎にはおかしいぞ、とCTスキャンも撮ってみました。と、やはりちょっとフツウではない。血液検査でも白血球が増えていない。これを「非定型肺炎」なんぞと業界用語では申します。からだの炎症の度合いを表わす指標 CRP は12.22（正常値0.3以下）とかなり高値でございました。

「マイコプラズマ肺炎」を想定いたしまして、マクロライド系と言われる抗菌薬とともに咳止めを多量に服用致しましたのですが、そう直ぐに効くはずはありませんで、体温は38℃を超え、咳嗽はいよいよ激し。これはヤバイぞ、マイッタな、会話にも事欠く次第、てなことて金曜日には解熱傾向はあったものの仕事を休ませて頂きました。

治療開始から3日目の土曜日。前日からニューキノロン系と言われる抗菌剤を併用したせいなのかどうか（たぶん違うでしょう）、少し楽になりましてスズキ病院の外来診療を行ったのでありますが、疲労感がハンパない。

なぜこんなに疲労感があるんだろうか。これを医学的にご説明申し上げます。

咳を1回すると2キロカロリーの消費、これは階段を1段上るのに相当します。ひどい時期は少くとも500回くらいはしたでしょう。てことは、 $2 \times 500 = 1000$ （キロカロリー）。スズキ病院の1階から6階までを1日に4、5回上った！ これに発熱による消費分がまあ500～1000。基礎代謝（ただ寝てるだけで何もしないときの消費）のカロリーが1300くらいで、加えて日常生活活動による消費カロリーが（通勤+デスクワーク程度のフツウよりやや低いレベルだと）600～800くらい。といふことは毎日（1000～500）+1300 +（600～800）=（3100～2400）キロカロリーくらいが消費されたわけで、これに見合つたエネルギー補給をしないと（カツ丼だけなら1日3杯ってところでしょうか）回復は遅れる、疲労が蓄積する、とまあ、こんなわけでございます。

この日、土曜日のレントゲン写真ではむしろ悪化気味、血液データも予想したほどの顕著な改善は見られず(CRP9.6)、少々意気沈しておりますと、M子先生は「先生いつも言ってるじゃないの、レントゲン写真の変化は少し症状より遅れるって」と仰います。

その通りでございます。これは呼吸器専門医であるわたくしめが、常々申し上げていることなんでしょうなあ。

日曜日。解熱傾向はあるものの微熱は続きます。咳嗽は極限で、度々夜間覚醒致します。そのたびに麦門冬湯なる漢方薬を舐めます。この薬、舐めると口腔内や喉の粘膜で吸収され、時に結構な即効性を表わします。で、一息ついてまた寝る。と、頭の中にはレントゲンの映像が浮かんでまいりまして、やがてこれが拡大した像に変わり（過去にたくさんの重症肺炎の画像を診てまいりました）、ああ、アカン、このまま行ったら ICU（集中治療室）へ入れられて人工呼吸だ・・・・ICUがある病院となると前に勤めてたところかね、誰に連絡しようか・・・・さては、いや、この頑固な咳、これはもしかしたら悪性腫瘍の肺転移の症状ではないだろうか、そういえばこの間血便が出たけど、あれは痔じゃなく大腸がんの症状なんじゃないのかしらん・・・・などと妄想にうなされながら、茫然と考えを巡らせているうちに眠りに落ちたのであります。

月曜日。完全に平熱化、咳嗽も減って回復基調は明らかであります。

治療開始から7日目の水曜日。レントゲンを再検査。陰影はまだ残存するものの血液データでは改善傾向が顕著(CRP1.98)。初回血液検査の結果が出て「マイコプラズマ肺炎」の診断が確定、ニューキノロン系抗生剤は中止といたしました。

M子先生曰く、「先生、マラソンやり過ぎで(免疫能が落ちて)肺炎になったんじゃないの？」わたくしめ、「いやいや、普段からマラソンで鍛えているからこれくらいの肺炎で済んだんですよ」と答えれば先生、笑って答えず・・・・でございます。

日曜日。まだ咳は少々残存するもののようにアルコールが美味しく感じられるようになりまして以後ボチボチと平常に復帰した、という次第でございますが、この間、レントゲン検査、血液検査を頻回に繰り返したのであります。

さて以上のような経過・処置が果たして医学的に適切であったのかどうか、省みて己を知るべし、と古人の箴言に従って検証してみますに・・・・発症から1週間でレントゲンを撮った。これはその気になればすぐ撮れる環境にありながら、イカン、失点ですな。

頑固な咳で白血球が増えない、レントゲンでは何かしらフツウの肺炎ではない、ならばとCTを撮り、その所見から「非定型肺炎」、恐らくはマイコプラズマ肺炎だろうと判断致しまして第一選択であるマクロライド系抗生剤内服を始めた、とここまでは専門医としてはごくごく当たり前の対応だと思っております。思うのであります。思うのであります。症状の改善が見られながらも治療開始から2日にして新たに別の抗生剤を併用した。これはもしマイコプラズマの他に病原菌が混じっていたらマズイぞ、といささか腰の引けた、やり過ぎといわれても仕方ない対処でありますし、さらに抗生剤投与2日目にレントゲンやら血液を再検査した、これ

は解熱傾向のあるタイミングですから不要でございます、外来で同じような患者さんを見たらまず、やらない行為であります。

つまり、でございますな、まあ少し考えてみればすぐ判る話なんでございますが、自分が病気の真ただ中におりますと客観的判断にとんでもない歪みを生ずるものでして、人工呼吸が必要となる重症肺炎の走りではないか、とか、転移性肺がんじゃないだろうかとか、いささか根拠に欠ける考えに苛まれる、それもこれもいわば当然の帰結といえれば帰結、なのであります。

医者が病気に罹つたとき、或いは医者の方が病気になる時、自分は主治医になるべきではない（あるいは他医のアドバイスに従う）というのはこの業界では常識とされてはいるのであります・・・しかし、でもねえ・・・いやいや、言い訳無用、これからは慎ましく生きて行こう・・・と、あれは3年前、思い出しては、慙愧、慙愧、反省、猛省、といったところで、お時間がまいりました。お後がよろしいようで。

—幕—



## 患者さんの権利

- 医師や病院の選択の自由と、セカンドオピニオンを受ける権利
- 診断・治療に関する情報を得て、同意または拒否する自己決定権
  - ・意識喪失患者は、家族または法廷代理人の同意が必要（緊急時は例外）
  - ・法的無能力者も、家族または法廷代理人による本人の意思決定への参加
  - ・患者さんの意思に反する処置、治療は法の許容範囲内で例外的に実施
- 十分に説明を受ける権利と共に、知らされない権利
- 医療に関する秘密が保持され、個人情報保護される権利
- 予防・早期発見と医療を選択する権利と自己責任
- 尊厳を尊重し、苦痛のない人間的な終末期ケアを受ける権利
- 聖職者による霊的・倫理慰安などの宗教的支援を受ける権利



## 「 結婚について 」

理学療法士 S

私事ではありますが、先日、結婚を致しました。「結婚」という言葉は知っていましたが、「結婚」という意味について、知る良い機会と思い「結婚」について調べて参りました。

一般的に結婚とは、愛し合う男女が、一生添い遂げることを誓い、新たな家庭をつくること。社会的な安定感、精神的な安心感を得ることができるもの。と、メリットと幸せに溢れているように言われていますが、スピリチュアルな面では少し違いました。

スピリチュアルでの結婚とは、血の繋がりのない他人と家族になることによって、独身では味わうことのない我慢や努力を経験し、成長させる為のものというのです。つまり、「結婚＝幸せ」ではなく「結婚＝苦行」だといっているのです。

このように聞くと、結婚することは良い事に思えませんが、実際に結婚は『幸せのゴール』ではなく『忍耐のスタート』です。

そもそも、他人と家族になるということは、書類上では署名捺印で済みますが、日常生活を送るとなると、そう簡単なことではなく、生まれ持った家族のような甘えも通用しません。お互いの親への対応、気をつかわなければならないことも出てきます。価値観の違いなどで、喧嘩や我慢をすることもあります。また、独身時代のように好き勝手にできなくなります。子供が産まれると、さらにたくさんの忍耐も必要になります。家族や子供の為に頭をさげなければならないような問題も出てきます。

そういった忍耐や我慢をあえて経験する為、そして、本当の愛や絆を理解する為に結婚をする。そうすることによって、人は成熟し、成長できる、つまり結婚はそういった成長に必要な修行の一つというのがスピリチュアル的な意味でした。

この1年を思い返してみると、確かに私も結婚準備を進めていくにつれ、買い物すれば「また無駄な物買って」や「部屋に入る前に風呂に入れ」など嫁に怒られることが増え、また知らないうちに生活の新たなルールが増えていたり、我慢することが増えた1年だったと思います。

少なからず結婚を「幸せな物」と考えていましたが、今回、成長するための「苦行」であるとわかったことで、新婚生活に望む心構えが出来たと思います。始まったばかりの「苦行」ではありますが、成長するため頑張っていこうと思った次第です。



## 「 院内保育所 リンリン保育園 」

リンリン保育園 保育士 深堀

スズキ病院から徒歩5分ほどの場所に、院内保育所が開園致しました！  
子どもたちはピカピカなお部屋で、のびのびと遊んでいます。少しずつ、保育室内の壁面装飾も増えてきています。子どもたちが遊びの中で成長していけるように、職員一同頑張っております。



病院職員からの玩具の寄付などもあり、ものに恵まれて、遊びもたくさん展開することができています。ご協力ありがとうございます。

下の写真は、おままごとでお料理をしている様子です。  
まだ開園して短いですが、子どもたちの成長が日々感じられて、とてもうれしいです。



※基本的に、病院職員のみのお預けになります。  
気になる職員の皆様は、お気軽にご相談ください。

## 「アスパラガスのスティックサラダ」

疲労回復に効果的なアスパラガス。  
タンパク質と一緒に摂取して、もっと効率よく  
健康になりましょう！



### 〈材料〉 (2人分)

- ・アスパラガス …4本
- ・パプリカ …1/2個
- ・にんじん …1/2本
- ・生ハム …80g
- ・クリームチーズ …80g

### 〈手順〉

1. アスパラガスを好きな長さに切り、鮮やかな緑になるまでお湯で湯がきます。  
パプリカやにんじんも縦に等分にして棒状にします。
2. 生ハムにクリームチーズを薄く塗り広げます。
3. アスパラガスの粗熱が取れたら生ハムをアスパラガスに巻いていきます。  
パプリカやにんじんも同様に巻いて包みます。

### ★ポイント★

- ・きゅうりなどの野菜でも合います。チーズの種類を変えてもGOOD！
- ・焼いてもおいしいです！ただしその際は中の野菜も湯がくようにしてください。



診療科目・診療担当者表

平成 30 年 4 月 2 日 改訂

		月	火	水	木	金	土
午前	内科	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)
	糖尿病内科	澗潟					
	消化器外科・外科	病院長	病院長	病院長	病院長	病院長	病院長
			平野		菅	新井田	
	循環器内科	佐藤(直)☆		鈴木(臣)☆	福田☆		矢部
	呼吸器内科			加藤☆			加藤☆
	整形外科		坂本				
	訪問診療	鈴木(小)	古川	町田	鈴木(小)		
リハビリ		植田		植田			
午後	内科	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)
	消化器外科・外科		平野		菅		平野
	整形外科(2:30~)		坂本		加藤英		坂本
	呼吸器内科						第2週休診 Pm2:00 ~
	泌尿器科	宇井					
	訪問診療	鈴木(小)	古川	町田	鈴木(小)	鈴木(小)	鈴木(臣)
	リハビリ		植田		植田		

※ 診療日:月~土曜日 休診日:日祝祭日。(急患の方は、24 時間受付しております。)

※ 診療受付時間 : 8 : 30~11 : 30、13 : 00~16 : 30

※ ☆:予約制です。

